

第31回ビーチバレージャパン 2017 北海道ブロック予選会

◆ 競技方法 『2017年度ビーチバレーボール競技規則』を適用する。(一部抜粋)

3セット・マッチで実施し、2セットを取ったチームが試合に勝利する。

セットは、(最終第3セットを除き)最低2点をリードし、先に21点を得たチームが取る。

20-20の同点(タイ)になった場合は、(22-20、23-21のように)2点のリードが得られるまでプレーは続く。

セットカウントが1-1のタイになった場合には、最終第3セットは最低2点をリードし、15点になるまで続けられる。

14-14の同点(タイ)になった場合は、(16-14、17-15のように)2点のリードが得られるまでプレーは続く。

チームは得点合計が7点(第1、第2セット)及び5点(第3セット)の倍数になるたびにコートスイッチをする。

チームは、1セットにつき1回(30秒)のタイムアウトを要求することができる。

すべてのインターバルは、1分間である。

村山大樹・高橋由寛 組

(札幌市)

荻原英章・三浦敬紘 組

(東京都)

(B1)

◆ 北海道代表チーム : . 組

◆ 全国大会

平成29年 8月11日(金) ~ 8月13日(日)

鵜沼海岸 特設ビーチバレー会場

「神奈川県藤沢市鵜沼海岸」

第28回ビーチバレージャパンレディース 2017 北海道ブロック予選会

◆ 競技方法 ビーチバレージャパンに同じ

◆ 北海道代表チーム : 富澤 真子・生田目 しのぶ 組

◆ 全国大会

平成29年 8月17日(木) ~ 8月20日(日)

せんなん里海公園ビーチバレー競技場(潮騒ビーチバレー他)

「大阪府泉南郡岬町淡輪」